

学校教育評価 2 学期アンケート結果、及び 今年度7月との比較

アンケート実施：令和 2 年 12 月（数字は%）

調査人数：全校 242 人（低学年 125/125 人・高学年 117/117 人）

保護者アンケート児童数配布 回答数 213 人（家庭数 175 戸）

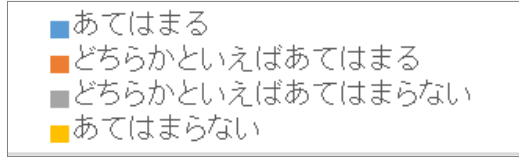
教職員 19 人

評価：A（あてはまる）

B（どちらかといえばあてはまる）

C（どちらかといえばあてはまらない）

D（あてはまらない）



【開かれた学校づくり】

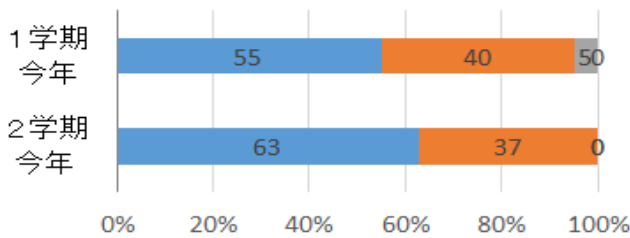
・学校生活や学習状況等について、積極的に情報発信し、教育活動の可視化を図る。

教職員（問 1）学校からの家庭や地域への情報発信はよくできている。

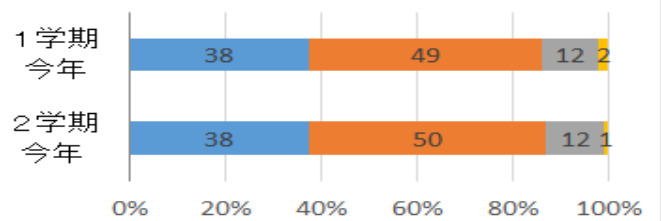
保護者（問 1）ホームページやメールなどにより、学校の様子がよくわかる。

			A	B	C	D		達成 状況
教職員	A：A+Bが90%以上 C：上記以外	B：A+Bが70%以上	問 1 63	37	0	0	A	A
保護者	A：A+Bが90%以上 C：上記以外	B：A+Bが70%以上	問 1 38	50	12	1	B	

教職員（評価）情報発信・可視化



保護者（評価）情報発信・可視化



【記述欄】

- ホームページをよく更新してくださりととても様子が分かって嬉しく思っております。お忙しい中、本当にありがとうございます。
- 2年生はホームページで取り組みを発信してくださる頻度が多く、楽しみにしています。
- ホームページの校長先生のお話をよく読ませていただいています。学校での取り組みや、休み時間の子どもの様子など、子どもが家で話さない事も書かれていて、とてもよく様子が分かります。これからも楽しみに読ませていただきます。
- ▲ホームページやメールをタイムリーに見ることができないので、おたより、通信などのほうがありがたい。クラスでの様子、お友達のことなど、参観日も減り個人面談の10分程度だけでは時間が足りないように思う。
- ▲パソコンがあればよいのだけど、ケータイではホームページを見ないので、様子（写真等）あっても、全く知らない。プリントで見るほうがすき。
- ※小学校内での写真のデータをアップして写真販売してほしい。（期間を決めて）こども園の時と同じようにしてほしい。学校へ行こう DAY を人数制限して再開してほしい。運動会や音楽会で規制や中止されている中、通常通り開催していただけることに本当にありがたく思っています。ありがとうございます。
- ※「ホームページを更新しました。」というメールを頂けると見るとは思いますが、普段は正直ホームページを気にして見たりはしません。更新のタイミングでメールがほしいなと思います。

【分析・今後の対応】

今年度、情報発信の手段をホームページ（HP）やメールに大きく変更したことや、コロナ禍で対応を模索したこともあり、前期のアンケートでは、昨年度より評価が下がる傾向がみられた。しかし、後期の評価は、前期に比べて伸びがみられ、プリントとSNSの双方の利点を活かしながら伝えたい事が確実に伝わるように進めることができたと分析できる。今後も子どもたちの様子や保護者の方への連絡については主としてホームページやメールを活用していくことを周知していく。HPを見ていただく機会を増やすために、メールで連絡をする時にHPのURLを添付したり、学校だよりにHPのQRコードを載せたりして工夫した。写真についても、ホームページや安心安全メールに添付して発信するなど、工夫することができた。また、来年度の参観日やオープンスクールについては、新型コロナウイルス感染症の広がりを考慮しながら、3密を避けて実施する方法を検討していく。

【生活指導】

- ・家庭、地域、学校どこでも自分から進んで挨拶できる子どもを育てる。
- ・感染について正しく理解し、感染予防に努める子どもを育てる。

〈自律について〉

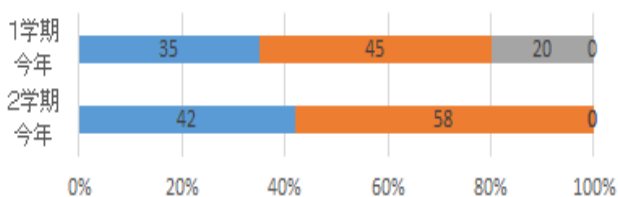
教職員 （問2）児童が判断したり、決めたりする機会を増やしている。

保護者 （問2）家庭で自分からやろうとすることが増えてきた。

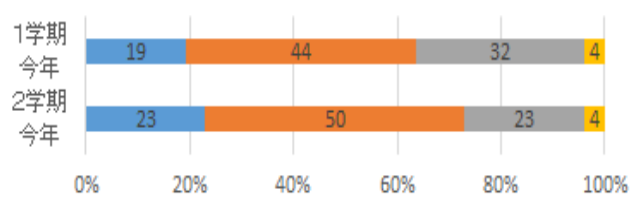
児童 （問1）自分で考えて行動している。

			A	B	C	D		達成状況	
教職員	A：A+Bが90%以上 C：上記以外	B：A+Bが60%以上	問2	42	58	0	0	A	A
保護者	A：A+Bが90%以上 C：上記以外	B：A+Bが60%以上	問2	23	50	23	4	B	
児童	A：A+Bが90%以上 C：上記以外	B：A+Bが60%以上	問1	48	44	6	2	A	

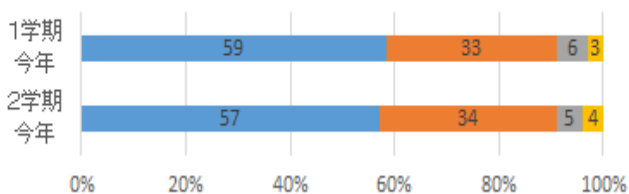
教職員（評価）選択・判断の機会の充実



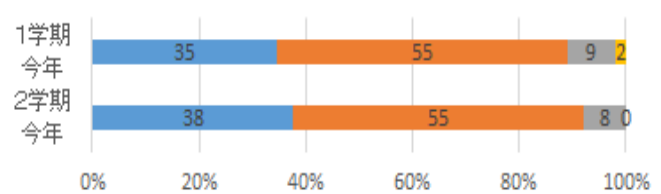
保護者（評価）自分からやろうとすることが増えた



低学年（評価）自分で考えて行動



高学年（評価）自分で考えて行動



【記述欄】

- ・3年生で気の合う友だちができて楽しく通っています。自分でできることはしようとする時もありますが、なかなかです。家庭で気を付けたいと思います。

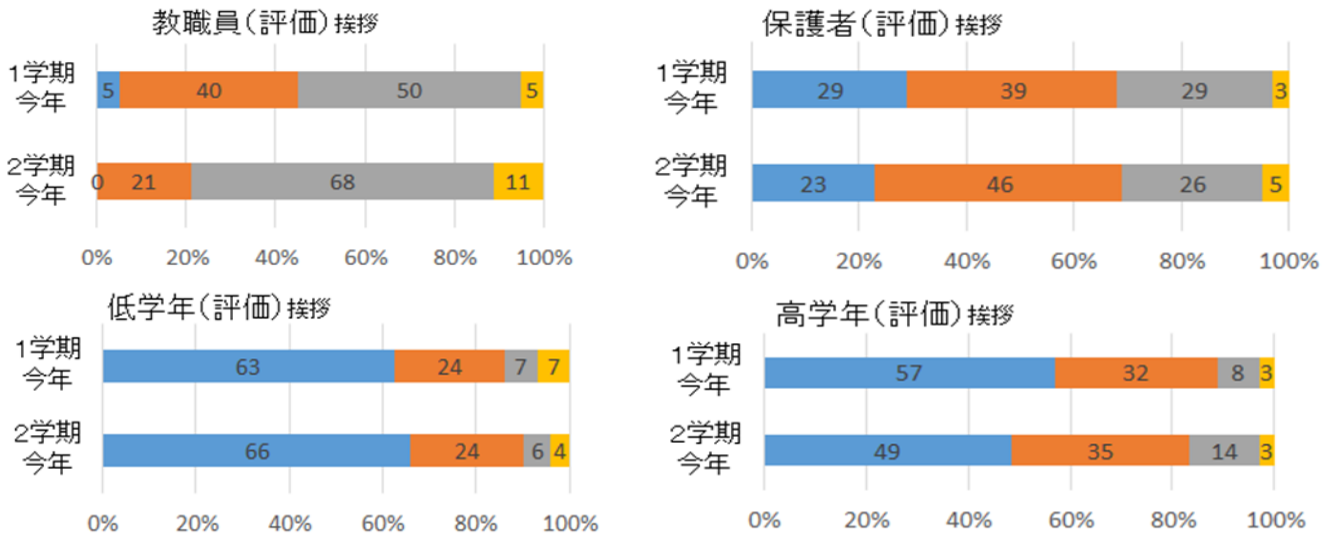
【分析・今後の対応】

教職員は、これまで以上に児童の自律心を高めるために、自己選択や自己決定をする機会を積極的に増やそうとしていた。児童のアンケートに見られるように、児童は自分で考えたり、行動したりする意欲が高まっている傾向が見られる。一方で、保護者の結果を見ると、児童が家庭や地域において自分で考えて行動できていると思われている割合が増えているが、課題が見られる。引き続き、児童が自発的に考え、行動する機会や場を設けるとともに、家庭とも連携しながら、児童が日常生活の中で自律に向かう指導を進めていく必要がある。

〈挨拶について〉

- 教職員** (問3) 子どもたちは、学校で挨拶をしている。
- 保護者** (問3) お子さんは、家でも、学校でも、地域でも、よく挨拶をしている。
- 児童** (問2) 家でも学校でも地域でも、自分から進んであいさつをしている。

			A	B	C	D		達成状況	
教職員	A : A+B が 90%以上 C : 上記以外	B : A+B が 60%以上	問3	0	21	68	11	C	B
保護者	A : A+B が 90%以上 C : 上記以外	B : A+B が 60%以上	問3	23	46	26	5	B	
児童	A : A+B が 90%以上 C : 上記以外	B : A+B が 60%以上	問2	58	29	10	3	B	



【記述欄】

- ▲挨拶する子どもがいないように思います。送り迎えで会える子どもを見る限り、昔は大きい声で挨拶が普通だったので、今はどうなのかな？と最近の挨拶が気になりました。一人ではなかなかできないと思うので、みんながしたら習慣になるかな？と、学校ではどのように教えているか気になりました。
- ▲どこのお子さんも、挨拶しない子が目立ちます。(どの学年も)声をかけても返事がありません。この地区だけかもしれませんが。
- ▲交通当番に立って、みんなに「おはよう～」と言うのですが、今年はいいさつしてくれる子が少ないです。高学年の子もスルーで、そのグループは他の子もほとんどスルーです。とても悲しいです。コロナやマスクをしていることが、あいさつをしない理由なのかもしれないけど気持ち良く大きな声であいさつできる子になってほしいです。(息子には、いつも大きな声であいさつするように言っていますが、外では分かりません・・・すみません。)

- ▲挨拶は大きな声ですることが難しいみたいです。家庭で気をつけたいと思います。
- ▲今年の5、6年生は、自ら挨拶する子が少ないように思います。下の学年の子たちをひっぱって行ってほしいです。

【分析・今後の対応】

アンケート結果より、子どもたちと保護者・教職員の意識にずれが見られる。子どもたちは挨拶をしていると答えているが、教職員や保護者からは十分ではないように見えている。子どもたちにとって、挨拶は学校でするものであるという意識があるように感じられる。家庭・地域などの学校外でも積極的に挨拶を行えるように、どういう姿が望ましいのか、あいさつをする目的などを児童に啓発を行っていく。

【学習指導】

- ・「聴き合い、対話し、学び合う学び」を通して、「わかった」「できた」と一人ひとりが実感し、学び続けようとする意欲を育てる。
- ・協働的な学びを通して、一人ひとりのよさや個性を認め合い、共に学び合う集団づくりに努める。

〈学ぶ意欲について〉

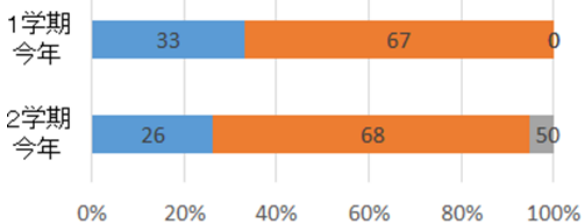
教職員 (項目4) 学習意欲を高める授業づくりに努めている。

保護者 (項目4) お子さんは、友だちと学ぶことを楽しんでいる。

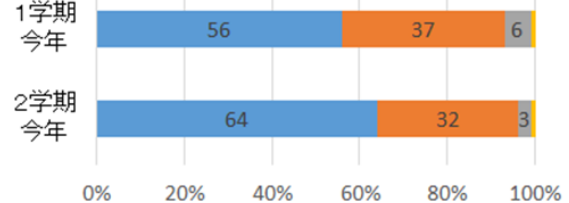
児童 (項目3) 新しい課題、学習に取り組む時は楽しんだ。

			A	B	C	D		達成状況
教職員	A : A+B が 90%以上 C : 上記以外	B : A+B が 70%以上	問 4	26	68	5	0	A
保護者	A : A+B が 90%以上 C : 上記以外	B : A+B が 70%以上	問 4	64	32	3	1	A
児童	A : A+B が 90%以上 C : 上記以外	B : A+B が 70%以上	問 3	49	32	12	6	B

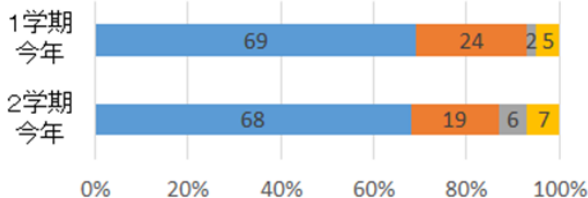
教職員(評価)学習意欲を高める授業づくり



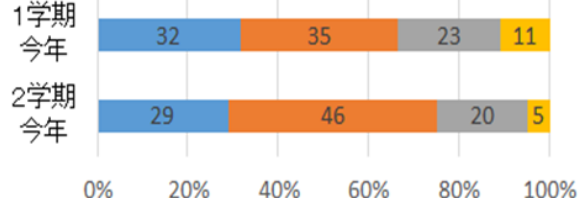
保護者(評価)友達と学ぶことが楽しい



低学年(評価)新しい学習課題に対して



高学年(評価)新しい学習課題に対して



【記述欄】

- ・子どもが意欲的に取り組める工夫も考えてくださっており、本人も熱心に取り組んでいるのでありがたいと思っています。

【分析・今後の対応】

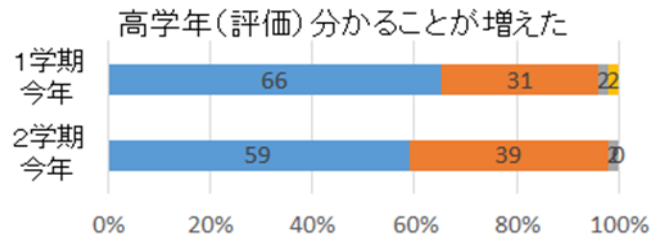
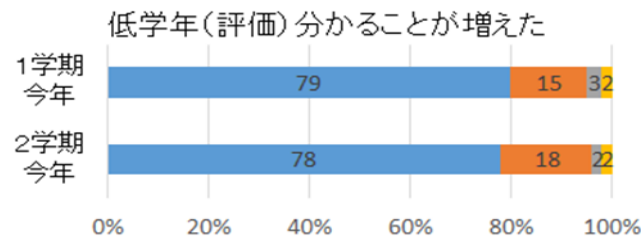
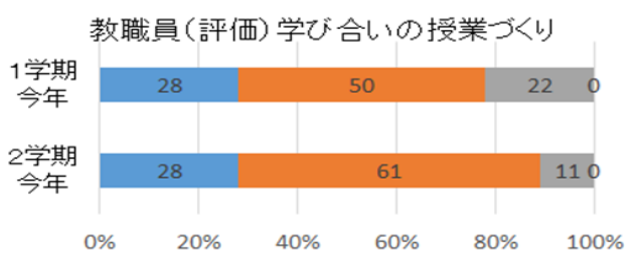
意欲的に学習に取り組んでいる児童は多く、子ども同士で意見をつないだり、課題解決を行ったりしている楽しさを感じていると思われる。しかし、今年度当初の休校措置によって、学習カリキュラムをこなすことに追われてきたことで、学習のペースに合わせられない児童もいる。子どもを中心に据え、他者につながった面白さを感じられる授業づくりが必要である。また、友だちとつながって課題に向き合おうとする経験を積み重ねることで、子どもたち一人ひとりの力が付き、友だちの良さに気づいたり、自分に自信が持てたりする子の育成に今後も努めていきたい。GIGA スクール構想によって、一人一台のタブレット PC を持つことになった。この取り組みが、子どもたちの意欲につながるように職員も研修をしていきたい。

〈分かった・できたの実感について〉

教職員 (項目 5) 友だちの意見を聞いたり、考えを広げたりと、学び合いの授業づくりをしている。

児童 (項目 4) 勉強をしていて、少しでも分かることやできることがふえてきた。

			A	B	C	D		達成状況	
教職員	A : A+B が 90%以上 C : 上記以外	B : A+B が 70%以上	問 5	28	61	11	0	B	A
児童	A : A+B が 90%以上 C : 上記以外	B : A+B が 70%以上	問 4	69	28	2	1	A	



【記述欄】

- 自主勉強にもしっかり取り組んでいるようです。
- ▲勉強もなかなか理解できておらず、家庭でも色々取り組みますが、思うようには進みません。
- ▲1クラスになり、算数等の分ける教科については何とか理解に追いついているようですが、他の教科は成績が低下しています。がんばりタイム等の制度も利用させてもらってますし、家庭勉強も見守っていますが・・・一人一人の課題をクリアできないまま進級することに不安を感じています。けつふれ等の活用方法が分かりにくい。(自主勉強) 苦手教科のプリント等を宿題として出してもらえると嬉しい。
※自分で考えて宿題をする力がもっともっとうつてほしいと思います。

【分析・今後の対応】

「勉強をしていて、少しでも分かることやできることが増えてきた」と答えた児童は、評価A+評価Bで95%以上あり、1学期アンケートに引き続き多かった。今年度前半は、コロナウイルス感染拡大防止

のための休校期間が長く、学習の年間カリキュラムをこなすために、学び合うことよりも学習を進めることを意識していたが、後半には児童の学び合いを大事にした授業づくりの研修を行ってきた。児童同士の学び合いを大切に授業づくりや、中学年で自分の課題を把握し、高学年ではその克服に向け自ら学習に取り組む児童の育成を目指していきたい。

【人権教育】

- ・学校・家庭生活における指導を通して、互いに人権を尊重し合い、自尊感情を育むように努める。
- ・児童への心のケアを通して、感染症の影響によるいじめ・差別・偏見等の啓発に努める。

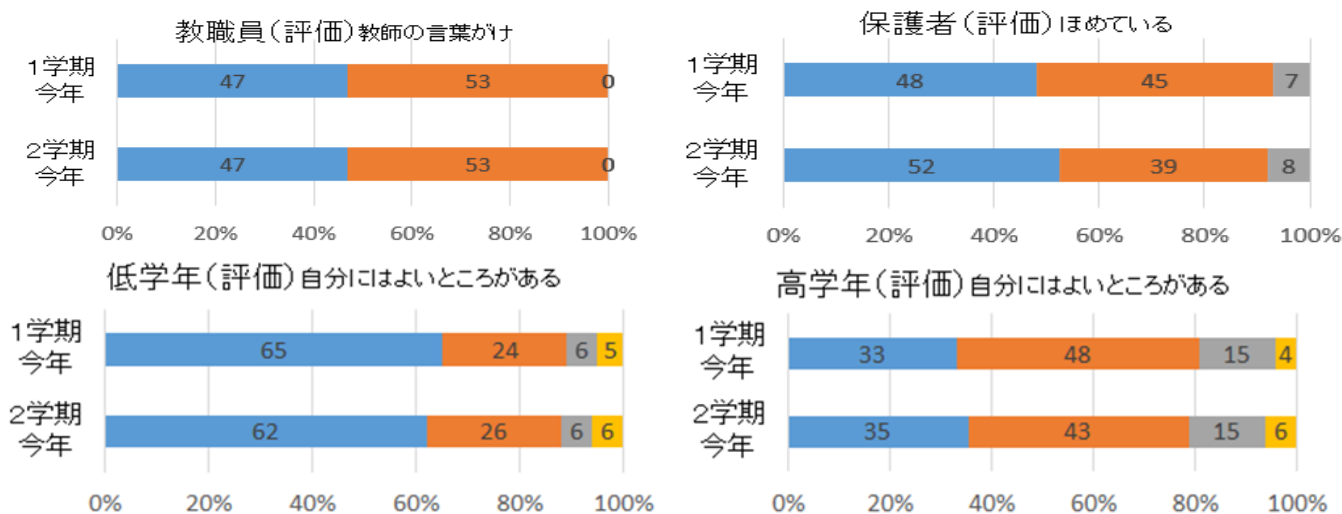
〈自尊感情について〉

教職員 (項目6) 子どもの伸びを認める言葉かけの質の向上に努めている。

保護者 (項目5) お子さんのがんばりやよいところをほめている。

児童 (項目5) 自分にはよいところがある。

			A	B	C	D		達成状況	
教職員	A: A+Bが95%以上 C: 上記以外	B: A+Bが70%以上	問6	47	53	0	0	A	B
保護者	A: A+Bが95%以上 C: 上記以外	B: A+Bが70%以上	問5	48	45	7	0	B	
児童	A: A+Bが95%以上 C: 上記以外	B: A+Bが70%以上	問5	50	35	10	5	B	



【分析・今後の対応】

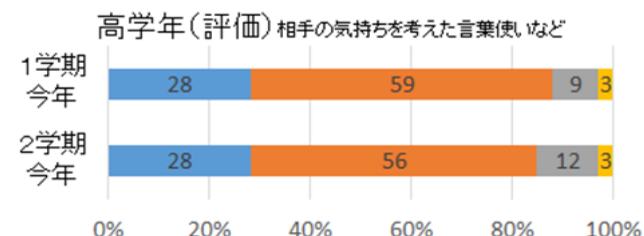
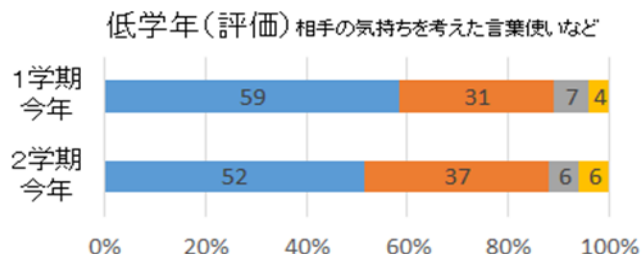
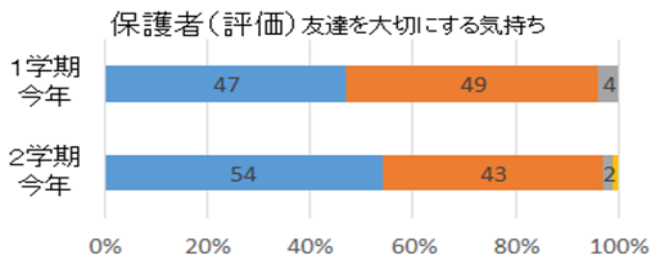
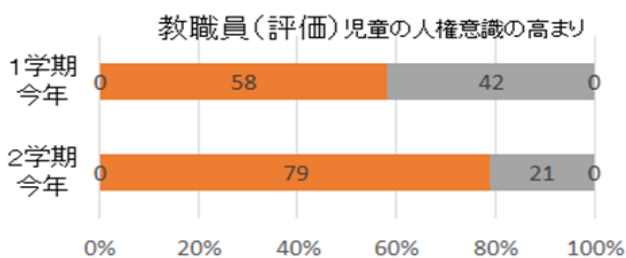
2学期になり、運動会や音楽会などの行事も開催されたことにより、自分たちの活躍の場を見つけられたのか、一人ひとりが認められる機会も増えた。しかし、子どもたち一人ひとりの取り組みに対する意識の差により、大きく自信をつけた子もいれば、変化のない状況にある子も見られる。日常的に、自分の良い面を意識させていくために、常に言葉かけを意識することも必要であるが、それだけではなく自分の評価を感じられる取り組み(評価の可視化等)を積み重ねることによって、自尊感情を育てていくことが大切である。

また、今年度から導入した、高学団における複数学年複数担任制により、子どもたち一人ひとりが、より多くの教員と接することができるようになった。これにより、心のより所を見つけ安心して生活できるようになったことで、気持ちが安定している児童が見られた。

〈人権意識について〉

- 教職員** (項目7) 児童の人権感覚や人権意識が育ってきている。
- 保護者** (項目6) お子さんは、友だちを大切にする気持ちが育ってきている。
- 児童** (項目6) 相手の気持ちを考えた行動、声かけ、言葉づかいができています。

			A	B	C	D		達成状況	
教職員	A : A+Bが95%以上 C : 上記以外	B : A+Bが70%以上	問7	0	79	21	0	B	B
保護者	A : A+Bが95%以上 C : 上記以外	B : A+Bが70%以上	問6	54	43	2	1	A	
児童	A : A+Bが95%以上 C : 上記以外	B : A+Bが70%以上	問6	40	46	9	5	B	



【記述欄】

○気の合う友だちと仲良く遊べているようでした。家ではいやいや期に突入していましたが、学校では頑張っているようでした。なので、家で疲れが出ているのかなどと言ってもらいすごく安堵しました。子どものやる気へ導いてくださるのがとても上手な先生なので親としてもうれしいです。

○今日、遊びに行くときにおばあさんがいぬい散髪屋さんをさがしておられたそうで「僕知っているのと一緒に行きましょう。」と言ってつれて行ってあげたと話してくれました。優しく育てられているようでうれしく思いました。(関係ない話ですみません。)

【分析・今後の対応】

子どもたちの人権意識や相手を思いやる気持ちは高まってきている。教職員は、アサーティブな表現で、相手を大切にする言葉の指導を行ってきた。これが成果につながってきたと感じている。しかし、まだ簡単に相手の気持ちを考えず人を傷つける言葉づかいで話している子どもの様子も見られるため、今後も継続して指導していくことが大切である。家庭や地域においての子どもたちの様子は仲の良い子どうしで遊んでいることも多く、その様子から保護者には子どもたちの人権意識が育まれているように感じられているのではないかとと思われる。

また、2学期には人権参観日にあわせて保護者と子どもと一緒に情報モラルについて話し合う機会を設定した。親子で対話を行ったことで、保護者にとって、子どもたちの人権感覚を確認するよい機会となった。今後も、人権参観日にあわせて親子対話を継続していきたい。

コロナ禍により、差別意識がつくられやすい環境に子どもたちは置かれていたが、臨時休業中から、発達段階に応じて啓発活動を継続的に行ってきたことにより、差別的な態度やいじめ事案、からかい事案はなかった。急激にコロナ禍が改善する見通しはもてないため、来年度以降も啓発活動を継続していきたい。

【複数学年複数担任制】

【記述欄】

- 子どもの意見です。複数担任制になって頼れる人が増えたと言っていました。
- 複数担任制について、子どもたちに特に戸惑いはなく、楽しんで過ごしているようです。子ども達が主体的に活動できるような機会を意図的につくっていただいていること、ありがたく思います。
- 今年度は新型コロナウイルスのこともあり、あまり学校に行く機会が少ないからか複数担任制についても実感がないのが正直なところです。逆に先生方がここまで取り組んで頂いて、利点や見えてきた課題を保護者側も知る機会があれば嬉しいなと思いました。
- 複数担任であっても子どもの事をよく見てしっかりと理解して下さっている先生がいらっしゃるのうれしいです。
- 親が担任が変わるとどうなるのか、不安でしたが、子どもはいろいろな先生がホームルーム担任で楽しいようです。懇談会も1学期、2学期と違う先生でしたが、しっかりと子ども見て頂いていることが伝わってきました。
- ▲HR担任の先生が変わるペースが早いので、何か相談ごとがある時に、誰に声をかけたらいいいのかな・・・と、親としては少々戸惑うところもありました。
- ▲複数担任制は、いろんな先生目から見て頂けるので良いところもあると思いますが、短期間で交代されるので子ども達の様子がきちんとわかるのかと少し心配になる部分もあります。
- ▲我が家の子どもには教科担任制は合っているようですが、複数担任制に関しては担任の先生によって子どもが伝えただけでは動いていただけない場合があるようです・・・。子どもも自主性を育てるための取り組みなのに親が言わないと動いていただけないのでは意味がないのでは？
- ▲複数学年複数担任制についてですが、1学期、2学期と個別懇談して頂き、以前の担任制度と比較して、先生の話される事が大まかな事でありあまりみてもらっていないのかな・・・と思いました。メリットはどこにあるのか今の現状では分かりません。
- ▲複数学年担任制で困っていることは、「今の担任の先生が誰なのか・・・？」と分からなくなることです。この体制になって日も浅いのでメリットを感じる機会はまだまだありませんが、その点が気になっています。
- ▲複数学年複数担任制にはまだじっくりきていません。やはりホームルーム担任だけは1年通して同じ先生でしっかりと受けもってほしいです。教科ごとに先生が変わることには納得しています。
- ▲先生に伝えないといけない事があつたら、いざ、誰先生に言えばいいのかわからなくなると思うことがあります。
- ▲教科は適した先生がすれば良いが、担任はちゃんと決めるべき。混乱する。

【分析・今後の対応】

児童はホームルーム（以下、HR）担任が変わることを楽しみにしていたり、「学習がおもしろい」という声も増えたりするなど、教科担任制と複数担任制を合わせて本校の取り組みの成果が見え始めている。また、自分で考え行動している児童が増加しており、効果の一つと考える。さらに、人によって態度を変えるような部分が少なくなり、自律した心が育ちはじめていると考える。

一方、固定の学級担任がなくなったことで、1学期末同様、保護者は「誰に相談すればいいのかわからない」と戸惑われている方もおられる。HR担任が変わるたびに、安心メールを使ってお知らせをしてきたが、その周知が十分でないことを考えると、タイトルなどに「HR担任交代のお知らせ」と明記するなど工夫していく。また、HR担任の交代については、児童の実態や教育活動によって最適な担任の配置を考えて行っていることであり、理解をお願いするしかないと考える。

また、日々子ども達の情報共有を行い、課題が見つかった時には、担任団5名で対応するなど、以前より迅速かつ手厚い対応ができるようになってきた。今後もこうした支援体制を継続するとともに、保護者の方の不安な思いがより軽減されるよう、引き続き家庭との連携を図っていく。

【その他】

【記述欄】

- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。
- ・毎日、楽しく登校していてうれしく思っています。先生方にはきめ細やかに子どもたちにかかわっていただき、ありがとうございます。今後とも、よろしくお祈いします。
- ・子どもと同じ目線に立って接して下さるので、子どもたちも親しみを持って先生と接することができたと思います。よく、先生大好き、2年生のこのクラス大好きと言っていました。
- ・今年は本当にコロナ、コロナの嫌な年になっていますが、色々な対策等、考えてくださりありがとうございます。毎日、元気に楽しく学校生活を送ってくれていてうれしく思っています。
- ・コロナで大変な中、いろいろと工夫して、学校生活がうまくいくようにして下さり、ありがとうございます。